

評価書目次（案）

要約

I. 背景

1. はじめに
2. 諮問の背景
3. 諮問事項

II. 評価の考え方

1. 国内 BSE 対策の見直しに係る過去の評価
2. SRM の範囲の見直しに係る評価の考え方

III. 評価の前提

1. BSE の現状

- (1) 世界の BSE 発生頭数の推移
- (2) 各国の BSE 検査体制
- (3) 各国の特定危険部位 (SRM)
- (4) 各国の飼料規制
- (5) 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 (vCJD) について

2. 日本における BSE 対策

- (1) 「生体牛のリスク」に係る措置
 - ①生体牛、肉骨粉等の輸入
 - ②飼料規制
 - ③SRM の処理
 - ④レンダリング施設・飼料工場の交差汚染防止対策
 - ⑤BSE サーベイランスの概要
 - ⑥BSE 発生状況
- (2) 食肉処理に関連したリスクに係る措置
 - ①SRM の除去
 - ②と畜処理の各プロセス
 - ③と畜場、食肉処理場の交差汚染防止対策

IV. 評価に係る知見の概要（ハザードの特性評価）

1. 非定型 BSE について（発生状況、発生頻度）
2. 脊柱（背根神経節：DRG）について（感染価、諸外国における状況）
3. 非定型 BSE の人への感染リスク（人獣共通感染症の可能性、疫学情報）
4. 用量反応（Dose-Response）

V. ばく露状況

VI. リスクの判定

VII. 食品健康影響評価

1. BSE の現状及び日本における BSE 対策

2. 非定型 BSE に由来する人への感染リスクに係る知見
3. ばく露状況
4. まとめ